

2016年6月にアップしました仕掛けについて、評価例も入れたものに改変しました。

授業構想をさらに具体化させ、子どもが主体的に学習を進めていくことができるために、また、その中で、子どもの心の成長の様子や学習状況を評価するために、授業者の意図的な支援を仕掛けと考えます。仕掛けには、子どもに議論をさせる仕掛けと、ねらいや構想に向かうための考える仕掛けの2つ考えました。

①「議論する仕掛け」

ここでは、ペアやグループで話し合うほかに、地域の方やその道一筋に取り組んでおられる方からの聞き取り、先哲の生き方、考え方からの学びも含めています。

まず、友だちとの話し合いの際、それを通して、ペアやグループとしての意見を「まとめない」のか「まとめさせる」のかを考えます。その上で、何のために話し合うのかという、しっかりとした目的をもつことが重要です。すべての子どもに情報を、より多く、できるだけ平等に与えるためにも、さらに、その話し合いの様子から、多面的な考えへの広がりや多様な考えの受け入れ等を評価するためにも、目的をもって話し合いを仕掛けていきましょう。

【まとめない】

話し合う内容	話し合う目的	評価例
道徳資料の中の状況の分析や、問題場面の共有のための話し合い	グループの全員に同じ程度の情報を把握させる。	具体的にイメージして捉えようとしているか
道徳上の問題について、一人一人の意見を出し合わせる話し合い	考えの多様性に気づかせ、自分の考えと比べさせる。	違う立場の考えを理解しようとしているか

【まとめさせる】

話し合う内容	話し合う目的	評価例
課題の類似点や相違点等について話し合わせる	様々な角度から課題を見直しさせる。	多面的な見方ができているか
グループ内で考えをまとめさせる	様々な意見から納得できる考えにまとめさせる。	長所短所を考えて判断しているか。
各グループから出された考えから、自分たちの考えを評価させる	様々な意見や考えを客観的に捉えさせ、より優れている考えを認めさせる。	道徳的価値の理解や意義等を深めているか。

②「考える仕掛け」

ねらいに向かうために、何を考えるのかを明確に指示をすることが、すべての子どもに考える機会を与えると共に、多面的多角的な見方に発展しているか、道徳的価値の理解に深まりがみられるかを評価することもできる。

仕掛け	内 容	評価例
つなぐ	授業から学んだことを、子どもの過去の経験や現在の生活、未来への構えとつないで考えさせる。	道徳的価値の理解を自分事として捉えているか。

比べる	複数の登場人物や物事を対比させ、その共通点や相違点等を考えさせる。	より深い道徳的価値を見出しているか。
選ぶ	複数の見方、考え方、行動等から、最もよいと考えられるものを、理由をつけて選択させる。	様々な視点から考え、判断の根拠を明確にしているか。
くくる	複数の行動や出来事等の底流にある、共通した大切な心や意義等を考えさせる。	道徳的価値の理解を深めているか。
繰り返す	同じようなことを、繰り返し行ってみること等を通して、大切な心や意義等を考えさせる。	道徳的価値の理解を深めているか。